

シラバス〔音楽理論Ⅰ〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 1 年	音楽課程	音楽専門教科	音楽理論Ⅰ	2
教科書				
『明解 新楽典』 音楽之友社 田島亘 武藤好男 他著				

授業のねらい（年間指導目標）	
音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けるようにする。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>< 基本的な楽譜の読み方を理解する > 記譜法や譜表の種類を学ぶ。 各音名（イタリア・ドイツ・日本）楽譜上で答えられるように覚える。 音符と休符長さを理解する。 略記法と装飾音について理解する。</p> <p>< リズムや音価について理解する > リズムと拍子について理解する。 縦線と小節、拍子記号について学ぶ 単純拍子、複合拍子、混合拍子についての知識を深める。 強起と弱起、シンコペーション、リズムの記譜法、拍子の変化について理解する。</p>
2 学期	<p>< 音程を理解し、その音楽的な効果について理解する > 音程（単音程 複音程 転回音程）について理解する。 音・音律・倍音について知識を深める。</p> <p>< 各音階を知ることにより、音楽を形作っている要素について理解する > 音階と調（調名と音階名 長音階の音階 短音階の音階 音階構成音の名称）について理解する。</p>
3 学期	<p>< 近親調について理解して、楽曲の構成を理解する > 音階と調（近親調 移調）について学び理解する。</p> <p>< 和音による音楽的な効果を学び、聴覚的にも理解する > 和音（三和音 七の和音）について学び理解する。</p>
評価方法	
定期考査、課題プリント、授業時の取り組み姿勢などにより評価する。	

備考

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	音楽課程	音楽専門教科	音楽理論Ⅰ	1
教科書				
『明解 新楽典』 音楽之友社 田島亘 武藤好男 他著				

授業のねらい（年間指導目標）	
音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力，判断力，表現力等を育成する。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p><記譜法の歴史から様々な種類の音楽のリズムや構成を知る> 記譜法の歴史や総譜、楽曲のリズムやテンポ、舞曲の種類について学ぶ</p> <p><音程について深く理解する。演奏時間について計算できるようになる> 旋律的音程と和声的音程、全音階的半音と半音階的半音、協和音程と不協和音程について理解する。小節数、演奏時間、テンポの計算ができるようにする。</p>
2学期	<p><様々な音階について理解する> 教会旋法、長音階（和声長音階 旋律長音階下行形）と短音階、その他の音階等を学び音楽様式の理解を深める。</p> <p><拡大された調性を学ぶ。また、移調にも対応できるようにする> 調の関係（Ⅲ度調 VI度調）等の第二次近親調まで拡大された調性を理解する。 移調（移調楽器を含む）、移旋、転調ができるようにする。</p>
3学期	<p><楽曲の調判定を学び、楽曲の分析に生かす> 楽曲の調性の判断、和音（基本型と転回型）、和音の機能と進行、和声と旋律、四声体、終止、異名同和音（その他の七の和音）について学ぶ。</p>
評価方法	
定期考査、課題プリント、授業時の取り組み姿勢などにより評価する。	

備考

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽課程	音楽専門教科	音楽理論 I	1
教科書				
『明解 新楽典』 音楽之友社 田島亘 武藤好男 他著				

授業のねらい (年間指導目標)	
音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとする態度を養う。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<総復習。基本的な音楽用語についての知識を深め楽譜を読み取り表現できる力を養う> 1・2年次の総復習、音楽用語について知る。
2 学期	私立系音楽大学入試問題の傾向と対策
	国公立系音楽大学入試問題の傾向と対策
3 学期	国公立系音楽大学入試問題の傾向と対策
評価方法	
定期考査、課題プリント、授業時の取り組み姿勢などにより評価する。	

備考

シラバス〔音楽理論Ⅱ（和声）〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	音楽課程	音楽専門教科	音楽理論Ⅱ	1
教科書				
担当者のプリント				

授業のねらい（年間指導目標）	
和声が楽曲中でどのような役割を果たしているかを考え、四声体の書式で和声の実習をする。耳で聞く「この和音の進行が心地良い」という感覚と、「なぜそうなるのか」という理論を結び付け、広い視野で楽曲を捉えられるようにする。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>カデンツについて学ぶ。</p> <p>各声部の音域について学ぶ。</p> <p>密集配分と開離配分について学ぶ。</p> <p>基本形の三和音の連結について学ぶ。</p>
	<p>連続5度、8度について（禁則）について学ぶ。</p> <p>終止形について学ぶ。</p> <p>四声体和声の分析について学ぶ。</p> <p>バス課題の実施について学ぶ。</p>
2 学期	<p>第1 転回形の三和音の特徴について学ぶ。</p> <p>基本形と第1 転回形の三和音の連結について学ぶ。</p> <p>並達5度、8度について（禁則）について学ぶ。</p>
	<p>四声体和声の分析について学ぶ。</p> <p>バス課題の実施について学ぶ。</p> <p>比較的平易な楽曲の分析について学ぶ。</p>
3 学期	<p>第2 転回形の三和音の特徴について学ぶ。</p> <p>バス定型について学ぶ。</p> <p>低音4度について（禁則）について学ぶ。</p> <p>転回形を含む三和音の連結について学ぶ。</p> <p>四声体和声の分析について学ぶ。</p> <p>バス課題の実施について学ぶ。</p>
評価方法	
定期考査、課題プリント、授業時の取り組み姿勢などにより評価する。	

備考

シラバス〔音楽理論Ⅱ〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽課程	音楽専門教科	音楽理論Ⅱ	1
教科書				
担当者のプリント				

授業のねらい（年間指導目標）	
和声が楽曲中でどのような役割を果たしているかを考え、四声体の書式で和声の実習をする。耳で聞く「この和音の進行が心地良い」という感覚と、「なぜそうなるのか」という理論を結び付け、広い視野で楽曲を捉えられるようにする。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	<p>第1 転回形の三和音の特徴について学ぶ。 基本形と第1 転回形の三和音の連結について学ぶ。 並達5度、8度について（禁則）学ぶ。</p> <p>第2 転回形の三和音の特徴について学ぶ。 バス定型について学ぶ。 低音4度について（禁則）学ぶ。 転回形を含む三和音の連結について学ぶ。</p>
2 学期	<p>属七の和音の特徴について学ぶ。 バス定型について学ぶ。 属七を含む和音の連結について学ぶ。</p> <p>根音省略形の属七について学ぶ。 四声体和声の分析について学ぶ。 バス課題の実施について学ぶ。</p>
3 学期	比較的平易な楽曲の分析について学ぶ。
評価方法	
定期考査、課題プリント、授業時の取り組み姿勢などにより評価する。	

備考

シラバス [音楽史]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	音楽課程	音楽専門教科	音楽史	2
教科書				
『はじめての音楽史 決定版：古代ギリシアの音楽から日本の現代音楽まで』音楽之友社, 2017 久保田慶一 [ほか] 著				

授業のねらい (年間指導目標)	
中世から古典派までの西洋音楽の歴史における、音楽作品や作曲家の音楽様式を把握し、その流れを理解する。また、日本の音楽についても触れる。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	中世の音楽：グレゴリオ聖歌、オルガヌム、マシヨ ルネサンスの音楽：ルネサンスのポリフォニー バロック期の音楽（1）：フランスの舞曲 バロック期の音楽（2）J. S. バッハの舞曲
2 学期	バロック期の音楽（3）：J. S. バッハの鍵盤曲 バロック期の音楽（4）：J. S. バッハの管弦楽曲 日本の音楽：日本の楽器と音楽ジャンル 古典派の音楽（1）：インテルメッツォ、オペラ・ブッフア 古典派の音楽（2）：モーツァルトの交響曲
3 学期	古典派の音楽（3）：モーツァルトのオペラ 古典派の音楽（3）：ベートーヴェンの交響曲
評価方法	
定期考査、課題プリント、授業時の取り組み姿勢などにより評価する。	

備考

シラバス〔鑑賞研究〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽科課程	音楽専門教科	鑑賞研究	2
教科書				
『はじめての音楽史 決定版：古代ギリシアの音楽から日本の現代音楽まで』音楽之友社, 2017 久保田慶一〔ほか〕著				

授業のねらい（年間指導目標）	
古典派から現代までの西洋音楽を鑑賞し、その歴史を学びながら作品を分析することができるようにする。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	古典派の音楽：ベートーヴェンのピアノ曲
	ロマン派の音楽（1）：シューベルトの音楽
	ロマン派の音楽（2）：ロマン派前期のピアノ曲 ロマン派の音楽（3）：ロマン派後期のピアノ曲
2 学期	ロマン派の音楽（3）：ロマン派の交響曲
	近代の音楽（1）：国民主義の音楽
	近代の音楽（2）：フランス近代の音楽
3 学期	20 世紀の音楽
評価方法	
定期考査、課題プリント、授業時の取り組み姿勢などにより評価する。	

備考

シラバス〔ソルフェージュⅡ〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 1 年	音楽課程	音楽専門教科	ソルフェージュ (聴音)	2
教科書				
担当者でテキストを用意する				

授業のねらい (年間指導目標)	
聴音に関する基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	三和音、四和音 (属 7・副 7・借用和音) リズム記憶 (4～6 小節) 旋律及び旋律と伴奏の記憶 (4～8 小節) 二声複旋律 (4～8 小節) 旋律 (8 小節～12 小節) 調号は \sharp ・ \flat 1 つまでの長・短調
2 学期	上記のほか、四声体 (密集) を加える。 三和音・四和音・四声体は当分の間ハ長調を中心とし、他の調も加える。 二声複旋律は大譜表によるもののほか、高音部譜表による二声も含める。 調号は \flat 2 つまでの長・短調
3 学期	四声体 (密集)・・・同上 リズム記憶 (4～6 小節) 旋律及び旋律と伴奏の記憶 (4～8 小節) 二声複旋律 (4～8 小節) 旋律 (8～12 小節) 調号は \sharp ・ \flat 2 つまでの長・短調
評価方法	
定期考査、グレードアップテスト (年 2 回)、提出物、出席日数などで総合的に判断する。	

備考

シラバス〔ソルフェージュⅡ〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	音楽課程	音楽専門教科	ソルフェージュ (聴音)	2
教科書				
担当でテキストを用意する				

授業のねらい (年間指導目標)	
聴音に関する基礎的な知識や技能を身に付け、音楽を形作っている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力を育成する。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	四声体 (密集)・・・同上 リズム記憶 (4～6小節) 旋律及び旋律と伴奏の記憶 (4～8小節) 二声複旋律 (4～8小節) 旋律 (8小節～12小節) 調号は#・b 2つまでの長・短調
2 学期	同上 調号はb 3つまでの長・短調
3 学期	同上 調号は#・b 3つまでの長・短調
評価方法	
定期考査、グレードアップテスト (年2回)、提出物、出席日数などで総合的に判断する。	

備考

シラバス [ソルフェージュⅡ]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽課程	音楽専門教科	聴音	2
教科書				
担当者でテキストを用意する 大学入試問題				

授業のねらい (年間指導目標)	
聴音に関する応用的な知識や技能を身に付け、音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にすることを養う。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	四声体 (密集)・・・同上 リズム記憶 (4～6 小節) 旋律及び旋律と伴奏の記憶 (4～8 小節) 二声複旋律 (4～8 小節) 旋律 (8 小節～12 小節) 調号は#・b 3つまでの長・短調
2 学期	同上 その他、大学入試問題など。 全ての長調、及び短調
3 学期	同上 その他、大学入試問題など。 全ての長調、及び短調
評価方法	
定期考査、グレードアップテスト (年2回)、提出物、出席日数などで総合的に判断する。	
備考	

シラバス〔ソルフェージュⅠ〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	音楽課程	音楽専門教科	視唱	2

教科書

『全訳コールユーブンゲン』大阪開成館
『ダンノーゼルのソルフェージュ2A』HENRY LEMOINE
『ダンドロ マニュエル・プラティック』Max Eschig
各授業担当者によるプリント教材

授業のねらい（年間指導目標）

視唱に関する基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	『コールユーブンゲン』No.1～No.45 『ダンドロ』ト音記号 『ダンノーゼルのソルフェージュ』2Aより抜粋 『新曲視唱』担当者に一任
2学期	『コールユーブンゲン』No.46～No.71 『ダンドロ』ト音記号 『ダンノーゼルのソルフェージュ』2Aより抜粋 『新曲視唱』担当者に一任
3学期	『コールユーブンゲン』No.72～No.87 『ダンドロ』ヘ音記号 『ダンノーゼルのソルフェージュ』2Aより抜粋 『新曲視唱・アカペラ』担当者に一任

評価方法

定期考査、提出物、出席日数などで総合的に判断する。

備考

シラバス〔ソルフェージュⅠ〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	音楽課程	音楽専門教科	視唱	1

教科書

『全訳コールユーブンゲン』大阪開成館
『ダンノーゼルのソルフェージュ2A』HENRY LEMOINE
『ダンドロ マニュエル・プラティック』Max Eschig
各授業担当者によるプリント教材

授業のねらい（年間指導目標）

視唱に関する基礎的な知識や技能を身に付け、音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力を育成する。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	『コールユーブンゲン』全範囲から抜粋 『ダンドロ』へ音記号 『ダンノーゼルのソルフェージュ』2Aより抜粋 『新曲視唱・指揮・リズム』担当者に一任
2学期	『コールユーブンゲン』全範囲から抜粋 『ダンドロ』へ音記号 『ダンノーゼルのソルフェージュ』2Aより抜粋 『新曲視唱・指揮・リズム』担当者に一任
3学期	『コールユーブンゲン』全範囲から抜粋 『ダンドロ』アルト記号 『ダンノーゼルのソルフェージュ』2Aより抜粋 『新曲視唱・指揮・リズム』担当者に一任

評価方法

定期考査、提出物、出席日数などで総合的に判断する。

備考

シラバス〔ソルフェージュⅠ〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽課程	音楽専門教科	視唱	1

教科書

『全訳コールユーブンゲン』大阪開成館
『ダンノーゼルのソルフェージュ2A』HENRY LEMOINE
『ダンドロ マニュエル・プラティック』Max Eschig
各授業担当者によるプリント教材

授業のねらい（年間指導目標）

視唱に関する応用的な知識や技能を身に付け、音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にすることを養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	『コールユーブンゲン』総復習 『ダンドロ』ソプラノ記号 『ダンノーゼルのソルフェージュ』2Aより抜粋 『新曲視唱』入試問題 『指揮・リズム』担当者に一任
2学期	『コールユーブンゲン』総復習 『ダンドロ』ソプラノ記号・テナー記号 『ダンノーゼルのソルフェージュ』2Aより抜粋 『新曲視唱』入試問題 『指揮・リズム』担当者に一任
3学期	『コールユーブンゲン』総復習 『ダンドロ』ソプラノ記号・テナー記号 『ダンノーゼルのソルフェージュ』2Aより抜粋 『新曲視唱』入試問題 『指揮・リズム』担当者に一任

評価方法

定期考査、提出物、出席日数などで総合的に判断する。

備考

シラバス〔合唱〕

学年	コース	教科	科目	単位数
全学年	音楽科	音楽（実技）	合唱	2
教科書				
合唱楽譜を取り扱う				

授業のねらい（年間指導目標）	
11月に行われる定期演奏会での演奏に向けて練習を重ね、ハーモニーを奏でる喜びを感じる「楽器」としての身体を意識し、より良い響きを作るための発声を身につける。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	パート分け 発声練習、ハーモニー練習、カノンを使った練習 合唱楽譜の譜読みと練習 英語による合唱曲
2学期	合唱楽譜の譜読みと練習及び、言葉に対する意識付け。
	全曲の暗譜練習 全曲の仕上げ練習
3学期	「ジャム・コンサート」やその他の演奏会に向けての練習
評価方法	
歌唱テスト、授業時や演奏会への取り組み姿勢などにより評価する。	

備考

シラバス [合奏 (弦楽)]

学年	コース	教科	科目	単位数
器楽専攻	音楽課程	音楽専門科目	合奏(弦楽)	1
教科書				
教科担当が用意した楽譜				

授業のねらい (年間指導目標)	
同属楽器による基礎合奏を通じて、楽器間のバランスや和音構成を意識した合奏能力の向上を目指します。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ パートの確認 ・ ボウイングの決定
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和音の確認 ・ 合奏 ・ 楽曲研究
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲研究
	<ul style="list-style-type: none"> ・ スコア研究
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合奏仕上げ
評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボウイングの適正 ・ スコアの理解 ・ 合奏に入る前の個人での準備 ・ 授業への取り組み(課題、出席、予習等) 	

備考

シラバス〔合奏（管打）〕

学年	コース	教科	科目	単位数
器楽専攻	音楽課程	音楽専門科目	合奏(管打)	1
教科書				
教科担当が用意した楽譜				

授業のねらい（年間指導目標）	
管打楽器による基礎合奏を中心に、楽器間のバランスや和音構成を意識した合奏能力の向上を目指します。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	基礎合奏により、和音構成を意識したピッチコントロールを学ぶ。 楽曲の構成や和音を意識した合奏能力の向上を目指す。
2 学期	楽曲分析を行い、曲の持つサウンド感やリズム感について学ぶ。 曲を通して学習し、楽曲の持つ音の特徴やリズムの特徴を理解しながら演奏出来る能力を身につける。
3 学期	ピッチコントロールやサウンドバランス等を理解しながら演奏するトレーニングを繰り返します。
評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・スコアの理解 ・合奏に入る前の個人での準備 ・授業への取り組み(課題、出席、予習等) 	

備考

シラバス〔合奏（管弦打）〕

学年	コース	教科	科目	単位数
器楽専攻	音楽課程	音楽専門科目	合奏(管弦打)	1
教科書				
教科担当が用意した楽譜				

授業のねらい（年間指導目標）	
モーツァルトやヘンデルの音楽を演奏するための楽曲分析を行い、基本から高度な演奏技術を修得する。合奏を通して、個人の技術を高めるとともに、人としてのコミュニケーション能力を高める。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	異なった楽器の発音について学ぶ。 スケール、アルペッジョについて学ぶ。 ハーモニーについて学ぶ。（自然倍音、平均律、純正律、ピタゴラス等）
2学期	音型を整える 音色について考察する。 和音の分析 響きとバランスの調整。
3学期	楽曲分析を行う。 音楽的表現を学ぶ。
評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・スコアの理解 ・オーケストラに入る前の個人での準備 ・授業への取り組み(課題、出席、予習等) 	

備考

シラバス〔演奏研究（声楽）〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	音楽課程	音楽専門科目	演奏研究(声楽)	1

教科書

『イタリア古典歌曲集』全音楽譜出版社より抜粋
『トスティ歌曲集』全音楽譜出版社より抜粋

授業のねらい（年間指導目標）

発声の基本的なメカニズムの周知と発音器官について理解する。
作品の歴史的な背景と構造的な特徴を理解し、自らの歌唱につなげる。

授業の進め方（年間指導計画）

1 学期	・発声の仕組みについて学習し「呼吸」と「発声」について考えます。
	・楽曲を使って和音構成を中心に楽曲分析し、ピッチコントロールについて学びます。
2 学期	・イタリア古典歌曲を使用し「発語法」の基礎を学びます。
	・近代イタリア歌曲を使い、歌詞から考える「表現法」を用いて楽曲分析します。
3 学期	・本番までのアプローチについて、各自が楽曲分析した楽譜をもとに計画し、実践します。

評価方法

- ・ワークシートの完成と提出
- ・個人で楽曲分析した楽譜の提出
- ・個別の歌唱による成果発表
- ・授業への取り組み(課題、出席、予習等)

備考

シラバス〔演奏研究（声楽）〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽課程	音楽専門科目	演奏研究(声楽)	1
教科書				
『日本歌曲集』全音楽譜出版社より抜粋				
『歌劇 フィガロの結婚(W. A. Mozart)』ペーターズ版より抜粋				

授業のねらい（年間指導目標）	
1. 2年時で学習した西洋史、西洋音楽の先にある日本近代歌曲の発展を中心に楽曲分析し、近現代日本史の背景と共に学習する。また、西洋音楽の集大成、総合芸術とも言える歌劇について、「フィガロの結婚」を用いて楽曲分析を中心に学習する。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	日本近代芸術歌曲の発展と歴史 日本語の詩の歌唱(高低、強弱、アクセント)と形式について(自由詩、定型押韻詩)
2学期	歌劇「フィガロの結婚」の成り立ち、役についての探究 ベルカントでの歌唱法について
3学期	学習のまとめ
評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの提出 ・個人で楽曲分析した楽譜の提出 ・歌唱テスト ・授業への取り組み(課題、出席、予習等) 	

備考

シラバス〔演奏研究（管弦打）〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	音楽課程	音楽専門科目	演奏研究(管弦打)	1
教科書				
現在取り組んでいる独奏曲及びエチュード				

授業のねらい（年間指導目標）	
独奏曲・エチュードを用いて「楽譜を読み解く力」を育てる。2年生ではソルフェージュで学んでいる音楽基礎知識を活かし、作品の特徴を理解する力を身につけ、3年生では2年生で習得した読譜力を活かし、専攻楽器の演奏を通じて音楽表現の幅を広げる事が目標である。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	楽語・拍子・リズム・音高の読み解きを中心に学習します。
2学期	強弱・フレーズ・アーティキュレーションの読み解きを中心に学習します。
3学期	調性・和声・構成の読み解きを中心に学習します。
評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業で作成した楽譜・スコアの提出 ・授業への取り組み(課題、出席、予習等) 	

備考

シラバス〔演奏研究（管弦打）〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽課程	音楽専門科目	演奏研究(管弦打)	1
教科書				
現在取り組んでいる独奏曲及びエチュード				

授業のねらい（年間指導目標）	
独奏曲・エチュードを用いて「楽譜を読み解き表現する力」を育てる。2年生ではソルフェージュで学んでいる音楽基礎知識を活かし、作品の特徴を理解する力を身につけた。3年生では2年生で習得した読譜力を活かし、専攻楽器の演奏を通じて音楽表現の幅を広げる事が目標である。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	楽語・拍子・リズム・音高・強弱・フレーズ・アーティキュレーションを音楽表現へつなげる。
2学期	調性・和声を音楽表現につなげる。
3学期	構成から表現を考える。
評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業で作成した楽譜・スコアの提出 ・授業への取り組み(課題、出席、予習等) 	

備考

シラバス〔演奏研究（ピアノ）〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	音楽課程	音楽専門科目	演奏研究(ピアノ)	1
教科書				
教科担当が用意した楽譜				

授業のねらい（年間指導目標）	
演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けるようにする。また、音楽の様式を踏まえた演奏に関する思考力、判断力、表現力を育成する。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	小曲を通して分析手法を学び、表現する方法を探究する。 鑑賞活動，声楽曲を用いて伴奏の技能を高める。
2学期	楽曲を分析しながら、形式及び和音分析を学ぶ，練習方法を探究する。 鑑賞活動，器楽曲を用いて伴奏の技能を高める。
3学期	鑑賞活動，連弾などのアンサンブル活動を通し、お互いに息を合わせて音楽を作り出し、表現する方法を探究する。
評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に出された楽曲の分析及び、表現の手法の理解や演奏を通して評価する。 ・ 授業への取り組み(課題提出、発表、授業への関心、意欲) 	
備考	

シラバス〔演奏研究（ピアノ）〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽課程	音楽専門科目	演奏研究(ピアノ)	1
教科書				
教科担当が用意した楽譜				

授業のねらい（年間指導目標）	
演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けるようにする。また、音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	楽曲の分析力を身につけ、演奏につなげられるようにする。 鑑賞活動，アンサンブルや伴奏の技能を高める。
2 学期	様々な楽曲を通して、その作曲家の時代背景や特質を学び、演奏上の違いを学ぶ。 鑑賞活動，アンサンブル（声楽クラスと合同で行い、実際歌に合わせて伴奏をする）
3 学期	演奏研究の仕上げとして、各自が選んだ楽曲を分析し発表する。
評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に出された楽曲の分析及び、表現の手法の理解や、演奏を通して評価する ・ 授業への取り組み(課題提出、発表、授業への関心、意欲) 	

備考